

令 和 8 年 5 月 2 1 日  
生 活 安 全 企 画 課  
総 合 犯 罪 防 止 対 策 室

## 令和7年中のSNS型投資・ロマンス詐欺被害者に対する アンケート調査結果

令和7年中に長野県内で認知したSNS型投資・ロマンス詐欺被害者178人のうち、協力が得られた151人（SNS型投資詐欺66人、SNS型ロマンス詐欺85人）を対象に、同詐欺に関する意識等についてアンケート形式で調査を実施したもの。

令和7年中の統計のため電話でお金詐欺（特殊詐欺）とは別類型の手口として集計しています。

### アンケート結果概要（課題）

- 「自分はだまされないと考えていた」との回答が9割以上  
その理由は「見破る自信があった」、「自分には関係ないと思っていた」との過信や無関心が原因。  
誰もが被害に遭う可能性があるという危機意識、当事者意識の醸成が必要です。
- 「誰にも相談しなかった」との回答が8割以上  
被害者の8割以上が、誰にも相談することなく被害に遭っています。  
SNSで投資や儲け話の誘いを受けたり、実際に会ったことがない人からお金を送金するよう頼まれたら、一人で判断せず、誰かに相談することが重要です。
- 1か月以上の長期間にわたりだまされていたとの回答が約8割  
だまされていた期間は1か月以上の長期間にわたる被害が大半を占めている中、多くの方が相手の丁寧な対応や肩書きなどから信用し、長期間犯人と交信を続けています。  
犯人は、「言葉巧みな話術」「必ず儲かるという文句」「恋愛感情」などを利用して信じ込ませてきます。  
詐欺は他人事ではありません。直接会ったことのない相手からの儲け話には、信用する前に相手のことを調べたり、家族・友人・警察などに相談しましょう。  
不安なことがあれば、警察相談専用電話「#9110」にご相談ください。

### ○長野県安全・安心アプリ「ライポリス」で最新の詐欺の手口を知りましょう



何の対策もしていないと、犯人の言葉巧みな話術によってだまされてしまいます。

長野県警察安全・安心アプリ「ライポリス」では、最新の詐欺被害発生状況や防犯対策の情報などを随時発信していますので、最新詐欺の手口を知り、被害防止対策を講じましょう。

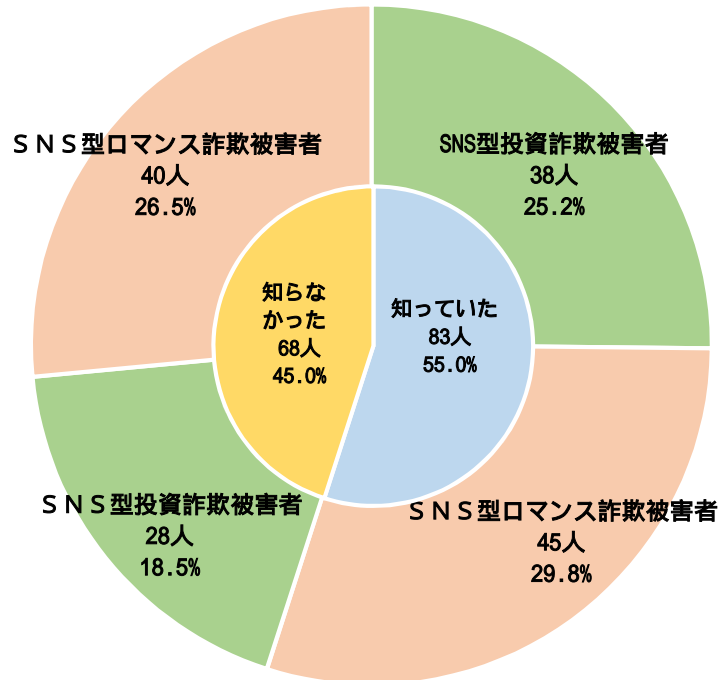
インストールはこちら



## 「手口を知っていた」が半数超え

### 【SNS型投資・ロマンス詐欺を知っていたか】

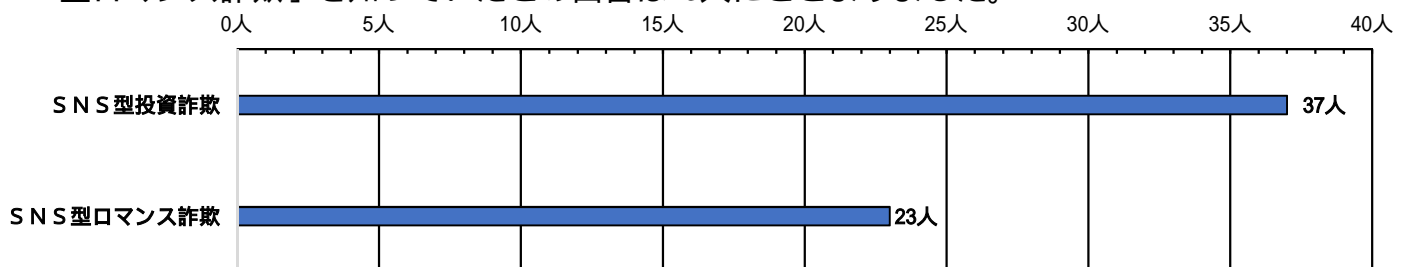
SNS型投資・ロマンス詐欺について、回答者151人のうち、83人（55.0%）が手口を知っていたと回答しており、手口を知らずに被害に遭った方が半数を超えていました。



具体的な手口を知ることが被害防止の第一歩です。  
最新の手口や発生状況を知り、“疑い感度”を上げて詐欺を見破りましょう。

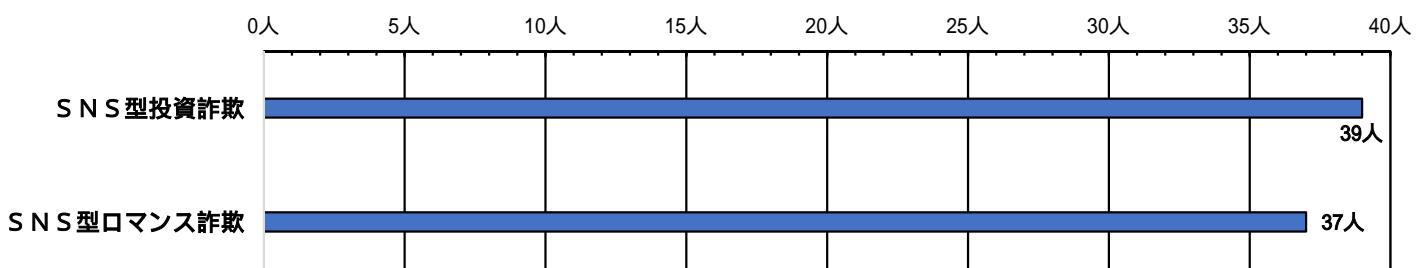
#### ○ SNS型投資詐欺被害者の場合

SNS型投資詐欺被害者で手口を知っていたと回答した38人のうち、「SNS型投資詐欺」を知っていたとの回答は37人で、ほとんどの回答者が知っていたのに対し、「SNS型ロマンス詐欺」を知っていたとの回答は23人とどまりました。



#### ○ SNS型ロマンス詐欺被害者の場合

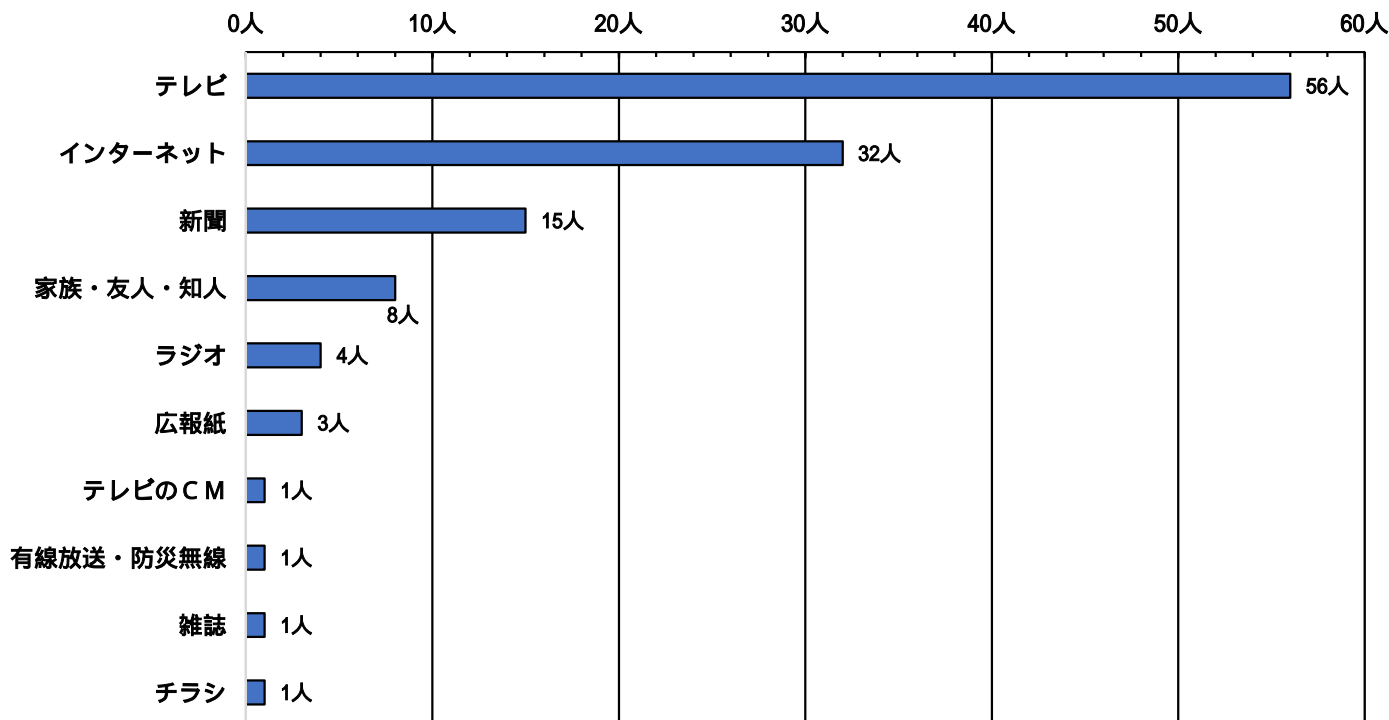
SNS型ロマンス詐欺被害者で手口を知っていたと回答した45人のうち、「SNS型投資詐欺」を知っていたとの回答が39人、「SNS型ロマンス詐欺」を知っていたとの回答は37人であり、8割以上の者がどちらの手口も知っていると回答しました。



## 【SNS型投資・ロマンス詐欺を知ったきっかけ】（複数回答）

SNS型投資・ロマンス詐欺を知っていたと回答した83人のうち、手口を知ったきっかけについては、「テレビ」が最多の56人であり、次いで「インターネット」が32人でした。

この他、「新聞」や「家族・友人・知人」などで知ったという回答もありました。

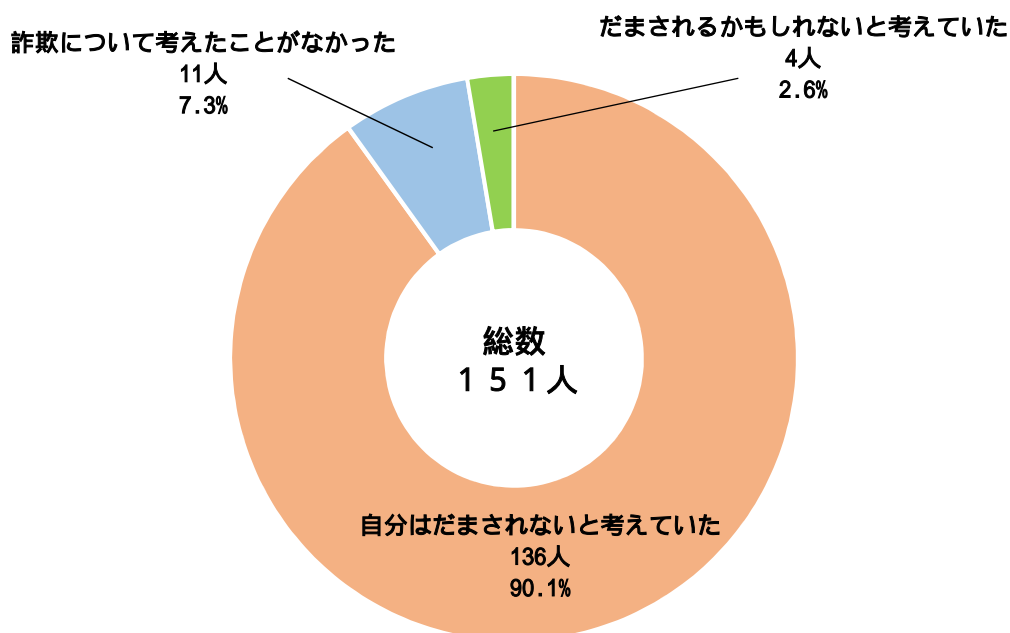


## 「自分はだまされないと考えていた」が9割以上

### 【SNS型投資・ロマンス詐欺に対する意識】

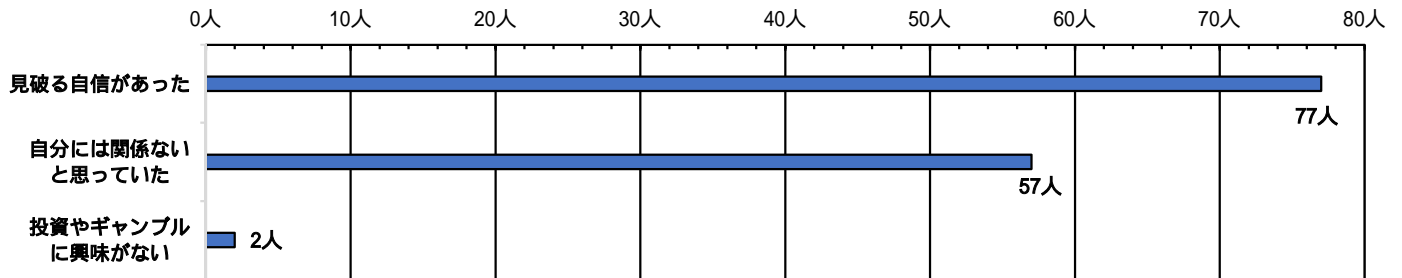
SNS型投資・ロマンス詐欺に対する意識について、回答者151人のうち、9割以上の136人（90.1%）が「自分はだまされないと考えていた」と回答しました。

このほか、「詐欺について考えたことがなかった」との回答が11人（7.3%）、「だまされるかもしれないと考えていた」との回答が4人（2.6%）でした。



## 【なぜだまされないと考えていたか？】

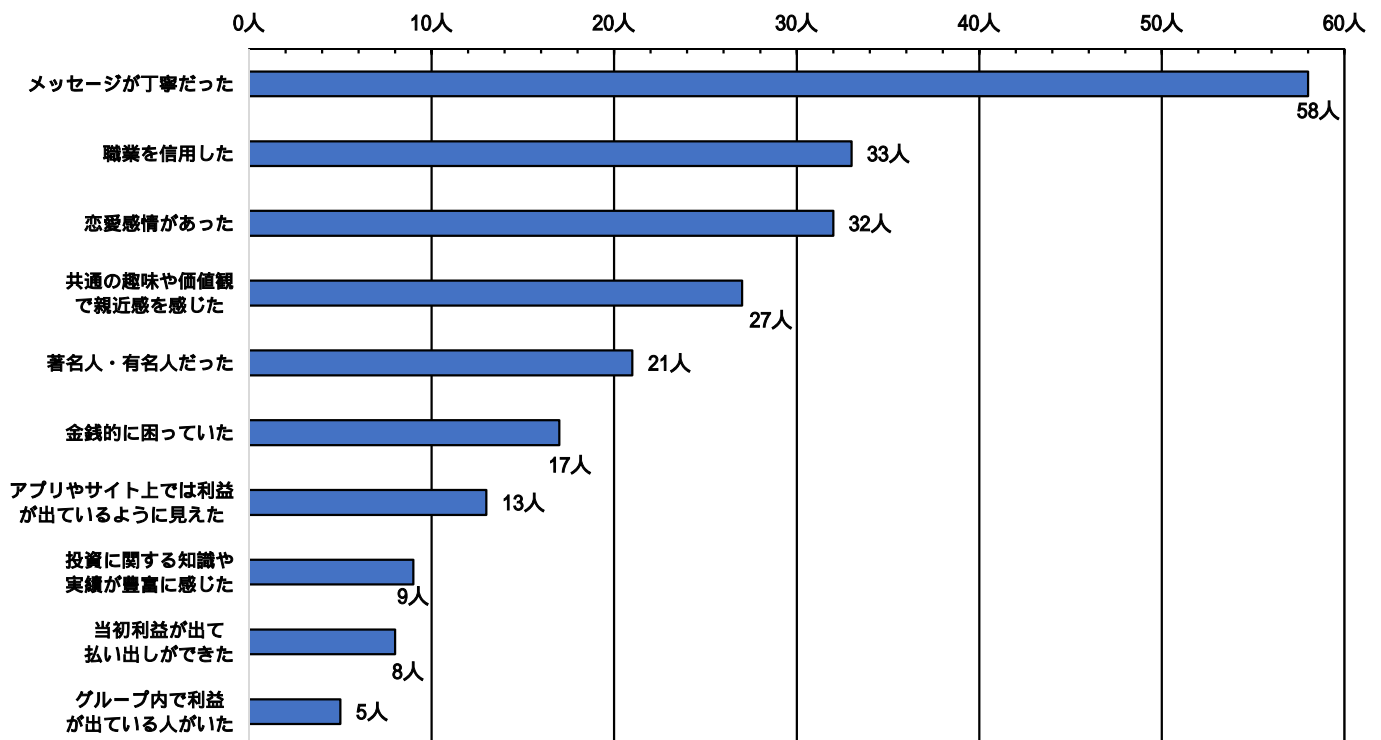
「自分はだまされないと考えていた」と回答した136人のうち、その理由として多かったのは、「見破る自信があった」が77人、次いで「自分には関係ないと思っていた」が57人でした。その他「投資やギャンブルに興味がない」という回答が2人でした。



自分が被害に遭う可能性を過小評価することで、警戒力が低下してしまいます。  
他人事と考えず、自分も被害に遭ってしまうかもしれないという危機意識・当事者意識を持ち、相手から儲け話をされたときには、詐欺を疑いましょう。

## 【なぜ犯人の話を知ったのか？】（複数回答）

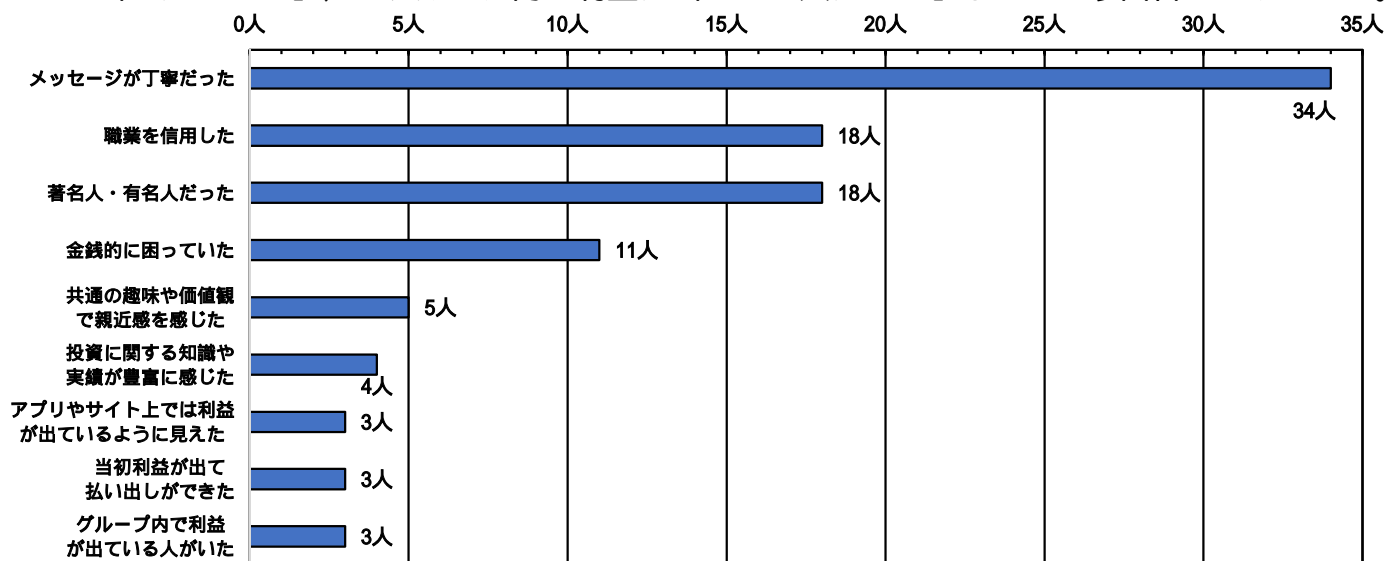
回答者が犯人の話を知った理由は、「メッセージが丁寧だった」が58人、「犯人が名のつた職業を信頼した」が33人、「相手に恋愛感情があった」が32人、「共通の趣味や価値観で親近感を感じた」が27人、「相手が著名人や有名人を名のつた」が21人、「金銭的に困っていた」が17人、「相手に示されたアプリやサイト上では利益が出ているように見えた」が13人などでした。



## ○ SNS型投資詐欺被害者の場合

SNS型投資詐欺の被害者のうち、回答者が犯人を信じた理由は、「メッセージが丁寧だった」が34人、「犯人が名のつた職業を信用した」、「相手が著名人や有名人を名のつた」がそれぞれ18人、「金銭的に困っていた」が11人でした。

そのほかには、「相手の投資に関する知識や実績が豊富に感じた」、「当初利益が出て払い出しができた」、「グループ内で利益が出ている人がいた」などという回答もありました。



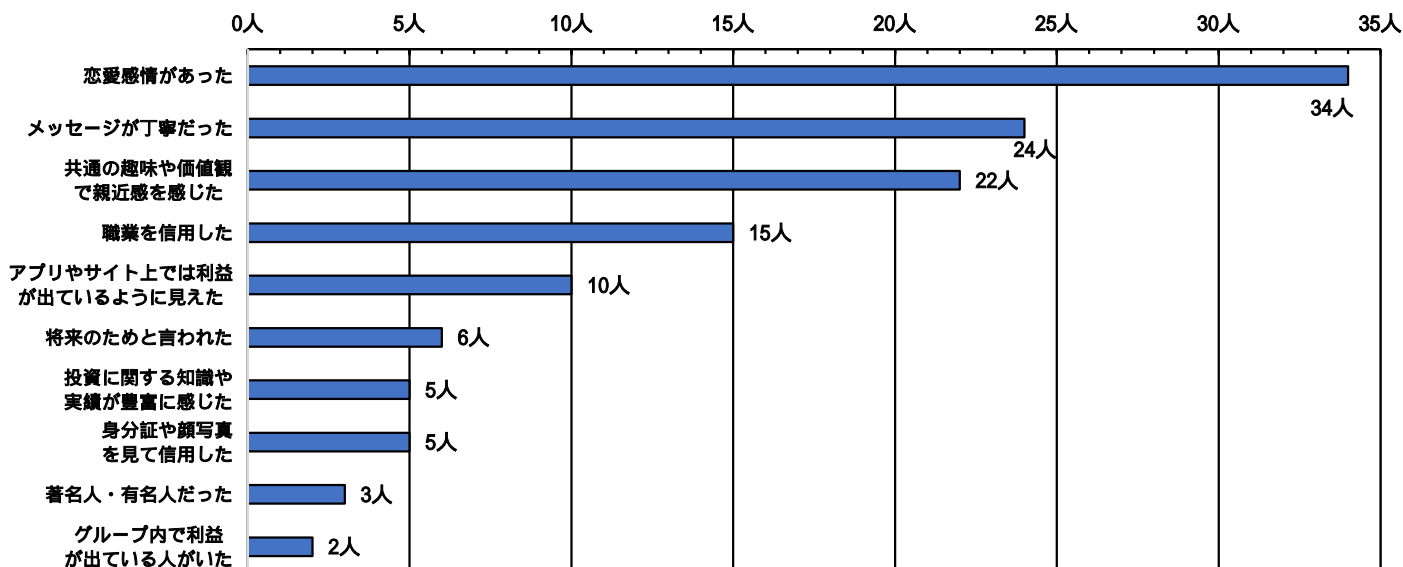
有名人、著名人や投資家などを名のり、言葉巧みに儲かると思わせた上、一時的な利益還元やアプリ・サイトでのニセの情報により利益が上がっているものと信じ込ませています。また、グループ登録をさせることにより詐欺に対する危機感を薄れさせ、ニセの実績情報を共有させることにより必ず儲かるものと信じ込ませるケースもあります。

「必ず儲かる」、「あなただけに教える」といった言葉には詐欺を疑う必要があります。

## ○ SNS型ロマンス詐欺被害者の場合

SNS型ロマンス詐欺の被害者のうち、回答者が犯人を信じた理由は、「相手に恋愛感情があった」が最多の34人、「メッセージが丁寧だった」が24人、「共通の趣味や価値観で親近感を感じた」が22人、「相手の職業を信用した」が15人でした。

また、投資の知識や利益に関するもののほか、「相手から将来のためと言われた」、「相手の身分証や顔写真を見て信用した」などといった回答もありました。

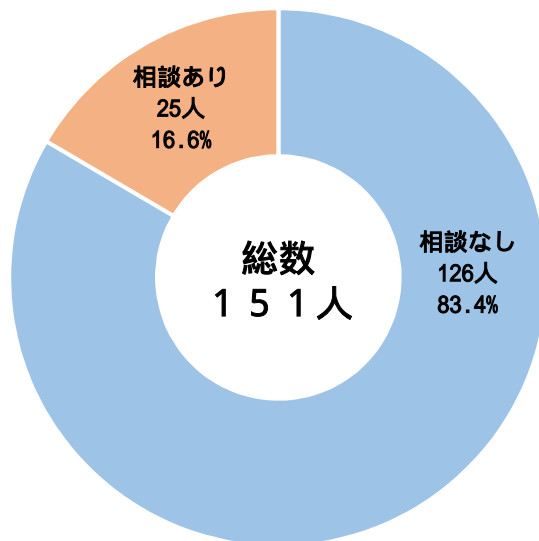


犯人は、恋愛感情を抱かせたり、仲良くなるなど、警戒心が薄れてきたところで、お金をだまし取ろうとします。直接会ったことのない相手からお金の話をされたら要注意です。

## 一人で判断しないで誰かに相談しましょう

### 【被害時の第三者への相談状況】

回答者151人のうち、被害前に誰かに相談したと回答したのは25人（16.6%）であり、8割以上の回答者は誰にも相談をせず、被害に遭っていました。



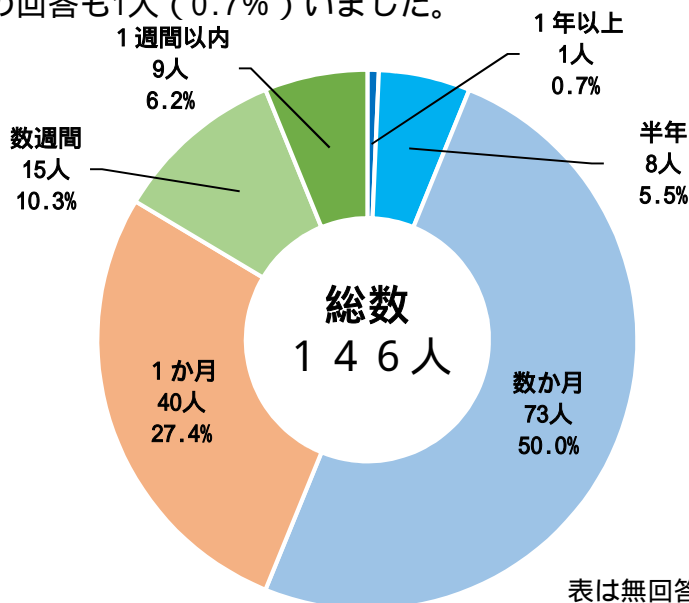
SNSで投資や儲け話の誘いを受けたり、実際に会ったことがない人からお金を送金するよう頼まれたら、一人で判断せず、まず、誰かに相談しましょう。

## 1か月以上の長期間にわたる被害が約8割

### 【だまされていた期間】

だまされていた期間は「数か月」が73人（50.0%）、「1か月」が40人（27.4%）であり、1か月以上の長期間にわたり、だまされる被害が約8割を占めました。

「1年以上」との回答も1人（0.7%）いました。



表は無回答の5人を除いた146人の数値

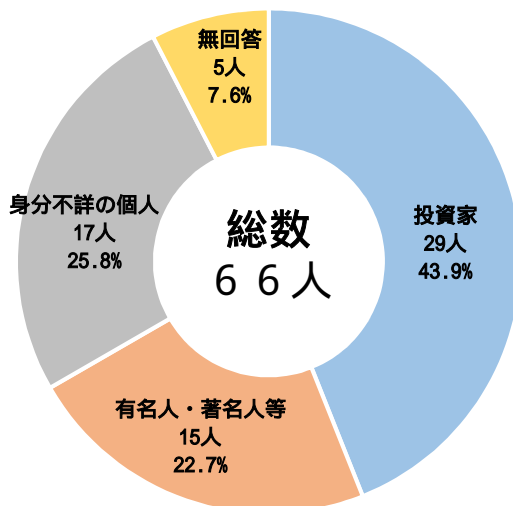
犯人は、1か月以上の長期連絡を取り合うことで信頼させ、だまそうとしてきます。  
たとえ、長期間連絡を取り合ったとしても、会ったことのない人を信用せず、詐欺を疑いましょう。

# SNS型投資詐欺編

かたりは投資家・有名人・著名人等が約7割

## 【相手が名のった身分】

SNS型投資詐欺の被害者66人から、相手が名のった身分について調査したところ、「投資家」が29人（43.9%）、有名人・著名人等が15人（22.7%）と約7割を占めました。



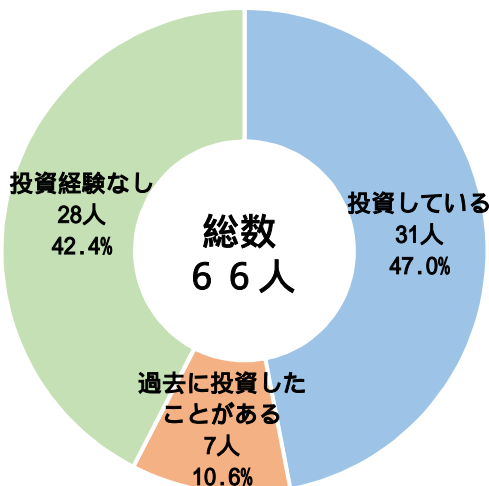
投資家、有名人や著名人などの「確実に利益が出る」という投資話や広告などは、特に注意が必要です。

肩書きを信用することなく、なりすましを疑い、公式アカウントでの発信情報の確認やインターネット検索をしましょう。

## 半数以上が投資経験者

### 【投資経験の有無】

回答者66人から「投資経験の有無」について調査したところ、「投資している」が31人（47.0%）、「過去に投資したことがある」が7人（10.6%）であり、半数以上が投資経験があるという結果でした。



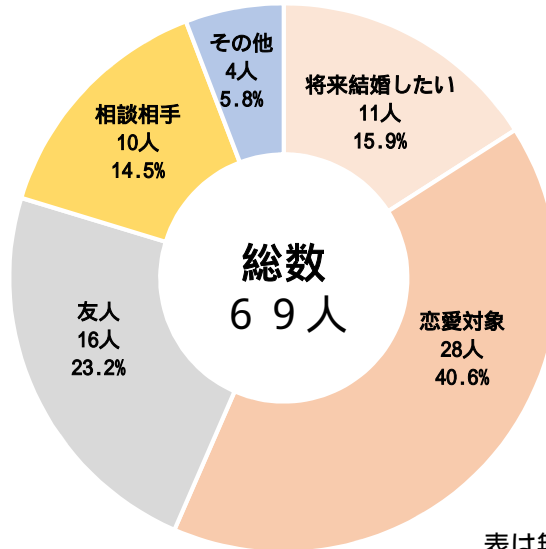
投資経験者でも被害に遭ってしまいます。投資に「絶対」「確実」はありません。「必ず儲かる」「あなただけに教える」などの甘い言葉には特に注意してください。

# SNS型ロマンス詐欺編

約6割が恋愛感情を抱いていた

## 【相手のことをどのように思っていたか】

SNS型ロマンス詐欺の被害者85人のうち、「相手をどのように思っていたか」について調査したところ、「将来結婚したい」が11人（15.9%）、「恋愛対象」が28人（40.6%）であり、恋愛感情に関する回答が約6割を占めました。

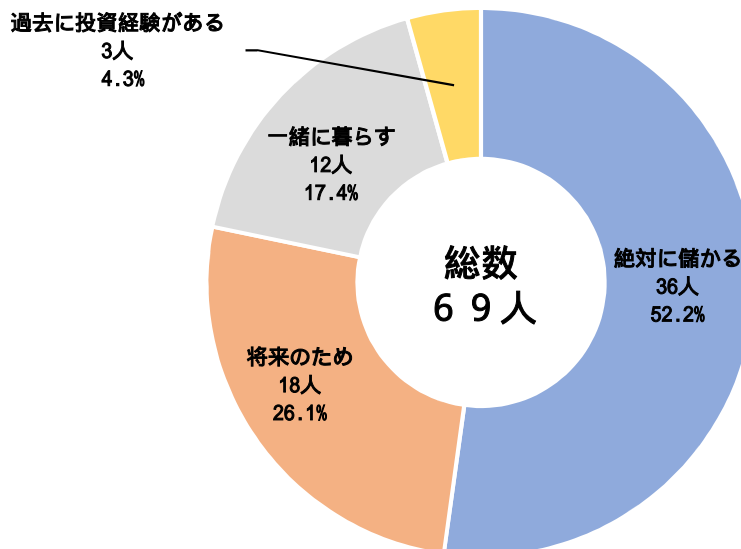


表は無回答の16人を除いた69人の数値

どんなにチャットやメッセージなどで仲良くなったとしても、実際に会ったことのない人からお金の話をされたら詐欺を疑いましょう。

## 【相手のことを信用した決め手の言葉】

相手を信用した決め手の言葉は「絶対に儲かる」が最多の36人（52.2%）を占め、次いで、「将来のため」が18人（26.1%）、「一緒に暮らす」が12人（17.4%）でした。



表は無回答の16人を除いた69人の数値

「2人の将来のために投資を」「あなたと結婚するためにお金が必要」はだましの手口！特に、「投資」に誘導されたら要注意です。